

業績概要(連結)

HP

原材料費および減価償却費の増加等により2期ぶりの減益

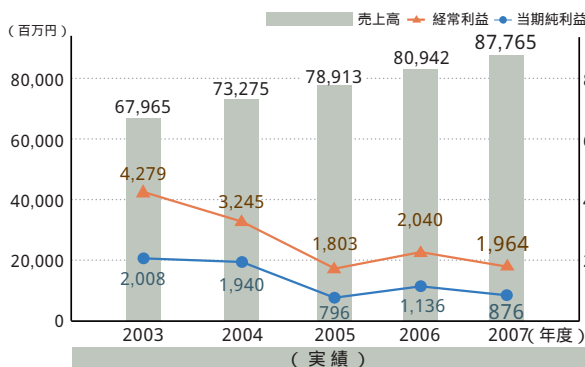
当期の売上高は、ガス事業およびLPG事業の売上高増加等により、前期に比べ6,823百万円増加(+8.4%)の87,765百万円となりました。

利益につきましては、原材料費および減価償却費の増加等により、営業利益が前期に比べ156百万円減少(9.1%)

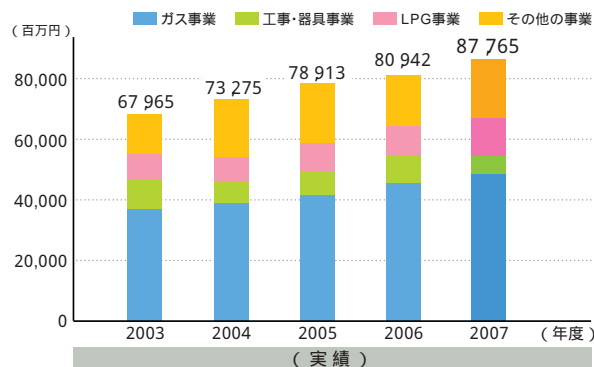
の1,565百万円、経常利益は前期に比べ75百万円減少(3.7%)の1,964百万円となりました。当期純利益は、前期に比べ259百万円減少(22.8%)の876百万円となりました。

収益性/成長性

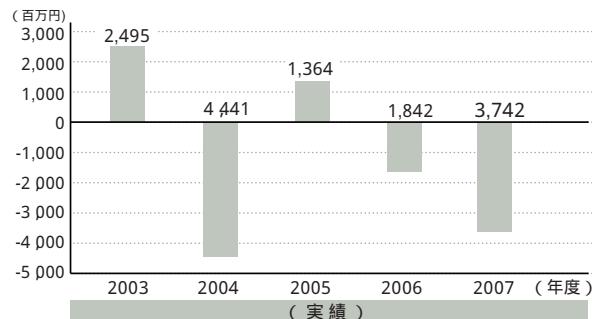
売上高および利益の推移



事業の種類別売上高の推移

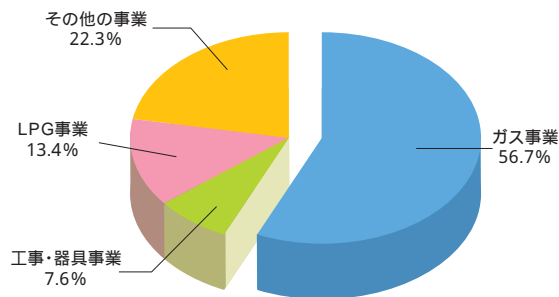


フリーキャッシュフローの推移



フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュフロー - (有形固定資産取得による支出額 + 無形固定資産取得による支出額)

事業の種類別売上高構成比(2007年度)



事業の種類別セグメント情報(2007年度)

| | 売上高 | 営業費用 | 営業利益 |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ガス事業 | 49,785 [+9.8%] | 46,484 [+12.1%] | 3,300 [14.7%] |
| 工事・器具事業 | 6,903 [+1.8%] | 6,816 [+3.3%] | 87 [52.1%] |
| LPG事業 | 11,814 [+17.7%] | 10,905 [+17.4%] | 909 [+21.5%] |
| その他の事業 | 22,054 [+2.6%] | 21,006 [+0.6%] | 1,048 [+69.8%] |
| 消去又は全社 | (2,792) [+2.4%] | 986 [+1.7%] | (3,779) [+2.2%] |
| 連結 | 87,765 [+8.4%] | 86,199 [+8.8%] | 1,565 [9.1%] |

各セグメントの数値は百万円未満を切り捨て、従って各項目の総額がセグメント毎の合計と一致しないことがあります。
()内は対前年比です。

収益性/成長性

6期連続の増収、2期ぶりの減益

当期の売上高につきましては、主力のガス事業における、大口を中心とした既存のお客さまの販売量の増加や原料費調整制度適用に伴う販売単価の上昇、さらには、LPG事業における原料高騰に伴う販売単価上昇等があったため、前期に比べ8.4%増加しました(6期連続)。

また、当期の利益は、本ページ上部に記載のとおり原材料費および減価償却費の増加等があったため、2期ぶりの減益となりました。

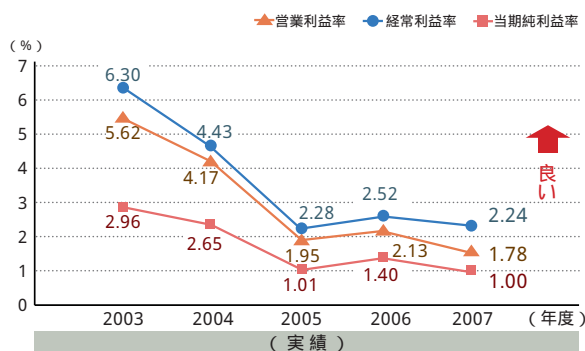
各区分に属する主要な製品の名称

P.9

- ガス事業/ガス導管を通じて供給する都市ガスおよび簡易ガス・他ガス事業者等への卸供給
- 工事・器具事業/工事: お客さまガス設備 器具: 給湯器、ガスコンロ等ガス器具
- LPG事業/ボタンおよびプロパン
- その他の事業/ガスボンベ充填、プロパン容器検査、検針・保安業務受託、労働者派遣業務、建設工事、住宅関連機器他

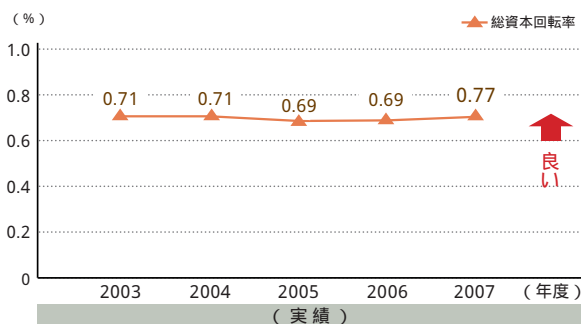
効率性

営業利益率・経常利益率・当期純利益率の推移



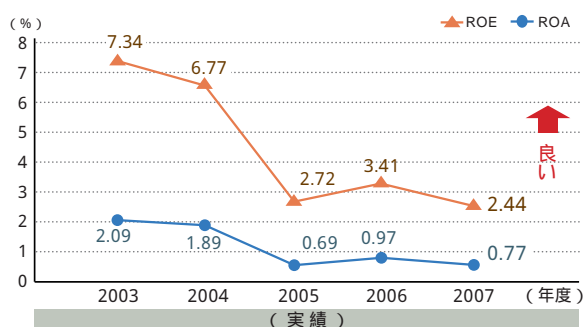
営業利益率(%) = 営業利益 ÷ 売上高 × 100
 経常利益率(%) = 経常利益 ÷ 売上高 × 100
 当期純利益率(%) = 当期純利益 ÷ 売上高 × 100

総資本回転率の推移



総資本回転率 = 売上高 ÷ 総資産(期中平均)

ROAおよびROEの推移



ROA = 当期純利益 ÷ 総資産(期中平均) × 100(%)
 ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本(期中平均) × 100(%)

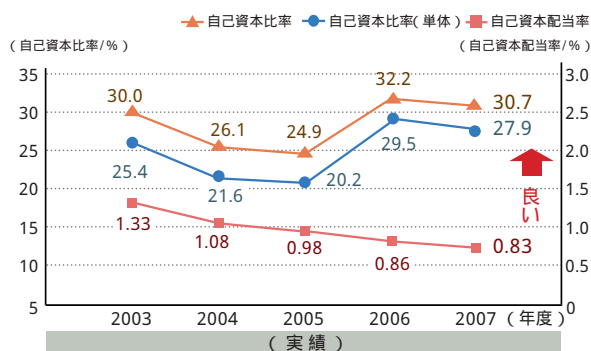
効率性

ROE5%をめざします

当社は、他燃料との競争力を高め収益力向上を図り、企業価値の増大を図るため経営指標として「ROE」(自己資本当期純利益率)を設定、目標を5%にしています。当期は、原材料費の増加等により2年ぶりの減益となり、ROEは対前期比で0.97ポイント減少の2.44%となりました。2008年度以降につきましても、原料価格等の影響が予想されますが、さらなる経営効率化を推進し、収益性を高めることによってROE5%以上をめざしています。

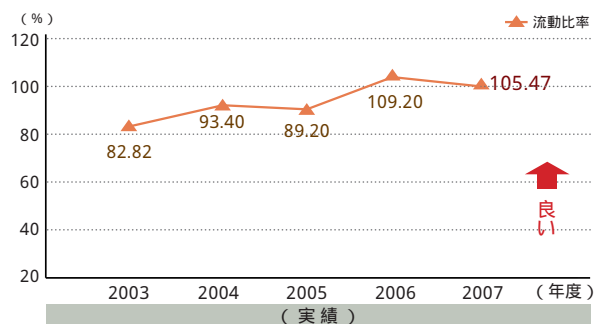
健全性

自己資本比率・自己資本配当率の推移



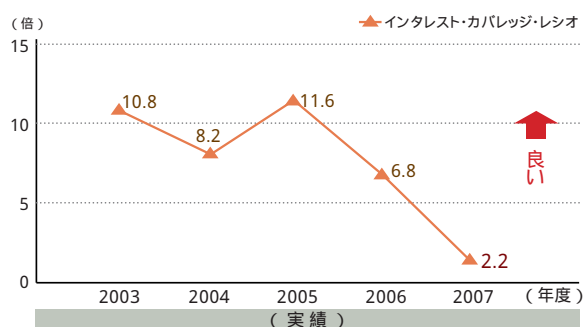
自己資本比率(%) = 自己資本 ÷ 総資産 × 100
 自己資本配当率(%) = 年間配当総額 ÷ 自己資本 × 100

流動比率の推移



流動比率(%) = 流動資産 ÷ 流動負債

インタレスト・カバレッジ・レシオの推移



インタレスト・カバレッジ・レシオ = キャッシュフロー ÷ 利払い
 (金融費用の支払い能力における安全性を示す指標)

健全性

効率的な投資、資産圧縮による財務体質の健全化に努めます

当期末の総資産は、流動資産の増加はあったものの、減価償却の進捗による有形固定資産の減少等により、前期末に比べ964百万円減少(0.8%)の113,579百万円となりました。

負債につきましては、コマーシャル・ペーパーの増加等があり、前期末に比べ672百万円増加(+0.9%)の77,249百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金および繰延ヘッジ損益の減少等により、前期末に比べ1,636百万円減少(4.3%)の36,330百万円となりました。

この結果、当期末の自己資本比率は30.7%となりました。